

1 国語に関する調査

【特長】

- ・聞き手に着目してほしい部分を工夫した資料や聞き手に伝わりやすい説明の仕方を指導したことにより、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することが身に付いてきている。
- ・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことが身に付いてきている。

【課題】

- ・目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がみられる。書く目的と聞き手を意識させた指導の必要がある。
- ・物語を読み、人物像や物語の全体像を想像したり、表現の効果を考えたりすることに課題がみられる。読書活動では登場人物を具体的に想像できるような読み進め方が必要である。

2 算数に関する調査

【特長】

- ・示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断する問題では、多くの児童がよくできていた。
- ・円グラフの特徴を理解し、割合を読み取る問題では、多くの児童がよくできていた。データを活用する力が付いてきている。

【課題】

- ・速さの意味についての理解に課題がみられる。速さの意味を確認し日常の事柄を用いながら学習を進めていく必要がある。
- ・折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述することに課題がみられる。グラフから読み取れることを文章にする力を付ける必要がある。

3 児童質問紙の結果より

【特長】

- 多くの児童が「自分にはよいところがある」「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」「将来の夢や目標をもっている」と答えている。
- 多くの児童が「人が困っているときは、進んで助けている」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と答えている。他の人を思いやる心が育まれていると考える。

【課題】

- 「学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる」と回答した児童の割合が低い。そのため、既習学習を意識した指導が必要である。
- 「健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てている」と回答した児童の割合が低い。日頃から健康についての意識付けを行っていく必要がある。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- 学校研究で掲げる「自ら考え主体的に表現する力」を育てるため、児童がより興味関心を示す課題や学習の「めあて」を明確に提示し、「振り返り」を確実に行えるようにする。
- レポート作成や課題提出、発表資料作成、調べ学習、意見交換など、授業の様々な場面において、より学習効果を高められるよう工夫しながらICT機器を活用していく。
- 宿題では授業の振り返りを行い、授業で興味をもったことや疑問に思ったことを進んで調べることなどができるように自主学習の進め方を提示し、学習習慣の定着を図る。
- すべての児童が学級の中や縦割り活動等、学校生活全体でお互いを認め合いながら安心して過ごせる雰囲気醸成し、失敗を恐れずに何事にも挑戦できるよう支援していく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 自分で計画を立てて学習に取り組めるよう学校でも支援していきます。家庭学習の習慣が定着するよう引き続きご協力お願いします。
- 多くのご家庭で基本的な生活習慣の定着や携帯電話・スマートフォンの扱いに関する約束ができています。今後も、ネットトラブルの予防に努めるとともに、生活リズムが乱れることのないようご注意ください。
- 児童は地域の皆様に支えられ育まれています。地域の行事を楽しみにしている児童が多くみられます。今後も地域とふれあう機会を大切にしていきます。